

# 京都・清水寺貫主揮毫の「寿」の文字入り短冊貼付 正月飾りを販売

11/20(月) 11:33配信

東奥日報



森貫主が揮毫し、複製した「寿」の短冊が貼ってある正月飾り

正月飾りやお盆用品の製造卸をしている青森県鶴田町のサトウ商事（佐藤博実社長）は今月上旬から、「今年の漢字」で知られる清水寺（京都）の森清範貫主が揮毫（きごう）し、複製した「寿」の文字入りの短冊を貼った正月飾りを初めて販売している。

同社が、森貫主と親交がある文化観光振興団体「津軽音羽会」の齋藤浄教事務局長＝平川市碓ヶ関＝を介し、昨年から同寺のしめ縄を制作している縁

で実現した。

正月飾りはリースタイプで3種類あり、本体価格は980円と1480円。ほかに、室内の置き飾りとミニ門松もある。今年夏に森貫主に揮毫してもらい、10月23日には同寺で正月飾りなどの祈とうも行われた。

2万個を出荷し、青森県を含め、北海道から九州のスーパーで全国販売している。

同社の佐藤泰平専務は「正月飾りを飾る家庭が全国的に少なくなっている中、日本の伝統を残したいという思いを清水寺に理解してもらい、協力していただいた」とした上で、「有名な森貫主が揮毫した縁起のいい正月飾りで新年を迎えたいと、新規で飾る家庭が出てきてくれれば」と話した。